

平成17年度第1回麻生区区民会議（試行）

- 1 開催日時 平成17年7月28日（木）午後2時～午後3時50分
- 2 開催場所 麻生区役所・第1会議室
- 3 出席者 [委員]
芦垣委員、石田委員、加宮委員、葛上委員、柴田委員、曾我委員、
千野委員、中島委員、山下委員
（欠席） 雨宮委員、小川委員、落合委員、鈴木委員、森委員
[参与]
雨笠参与、尾作参与、佐藤参与、菅原参与、花輪参与、山崎参与、
相原参与
（欠席）伊藤参与、吉田参与
[事務局]
斉藤区長、磯野副区長、櫻井こども総合支援担当参事、
青木区民サービス部長、藤田保健福祉センター所長、
石津保健福祉センター副所長、一宮建設センター所長、
満枝区民サービス部参事・市民税課長、北浦総務企画課長、
豆白総務企画課主幹（企画調整担当）、畠山地域振興課長、
平賀地域保健福祉課長、三橋建設センター管理課長
- 5 次 第 (1) 開会あいさつ
(2) 委員・参与紹介
(3) 事務局紹介
(4) 会議の公開について
(5) 議長・副議長選出
(6) 議事
ア 区民会議の位置づけ等について
イ 麻生区区民会議の審議方法・制度設計について
ウ 区の課題の審議について
（課題）魅力ある麻生川
(7) 次回日程について
(8) その他
(9) 閉会
＊配付資料一覧
資料1 麻生区区民会議（試行）委員・参与名簿
資料2 区民会議の位置づけ、区民会議制度（本実施）のイメージ（案）
資料3 試行の麻生区区民会議の設置に関する要綱

- 資料４ 麻生区区民会議（試行）の取り組みについて
- 資料５ 平成１８年度区民会議委員構成（案）
- 資料６ 区の課題解決のための審議シート（審議事例）（資料・写真）
- 資料７ 区の課題解決のための審議シート（区の課題）
- 資料８ ふるさと麻生八景の概要
- 資料９ あさおうオーキングマップ（地図と概要）

６ 議事摘録

（１）開会あいさつ

齊藤麻生区長より開会あいさつ

（２）委員・参与紹介

各委員の紹介

各参与の紹介

（３）事務局紹介

事務局職員の紹介

（４）会議の公開について

「川崎市審議会等の会議公開に関する条例」第３条の規定に基づき公開

（５）議長・副議長選出

委員からの推薦により、議長・副議長選出

議長：中島委員

副議長：芦垣委員

（６）議 事

ア 区民会議の位置づけ等について

（議長）区民会議の位置づけ等について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）総合企画局政策部より資料に基づき説明。（資料２）

（議長）どうもありがとうございました。

ただ今、ご説明いただきましたが、何かご質問、ご意見がございましたらお願いします。

〔発言する者なし〕

（議長）それでは、後ほどご意見をお伺いすることといたします。

イ 麻生区区民会議の審議方法・制度設計について

（議長）次に、麻生区区民会議の審議方法・制度設計について、事務局から説明

をお願いします。

（事務局）事務局より資料に基づき説明。（資料３、資料４）

（議長）どうもありがとうございました。

ただ今、ご説明いただきましたが、何かご質問、ご意見がございましたらお願いします。

（委員）今日も含めて３回の日程並びに内容の説明がありましたので、おおむねこの先どのように進んで行くのかわかりました。それで、非常に重要な課題、今日これだけ傍聴人の方が、今までの区政推進会議では来られなかった数が来られているということを見ましても、区民の方々の関心というのは一部かも知れませんが、意識は高いのではないかと思います。皆さんが区民会議に対して非常に期待しているのではないかと思います。それでいながら、区民会議というのを身近なものにしていけないと、縁遠いものだなあと、感じているのが大方ではないかと思います。それで、この区民会議の今後３回の内容について、区民会議試行の中で審議するのはもちろんですけども、一般の区民の方々、そういった方々の意見の聴取、やりとりといったことは、非常に短い時間ですけども、考えられているのでしょうか。

（事務局）本日、傍聴者用にアンケートを別に用意してあります。委員の方と全く同じものではありませんが、少し違うパターンのアンケートを取らせていただいて、傍聴者の方に後でご意見をお聞きする予定になっております。それから、本日の議題を説明する中で、どういう方向が考えられるのかを提案させていただきます。委員の皆さんのご審議の中で、２回目、３回目に向けて、麻生区で決定すべきことについてのアンケートを、どのような形で取りたいというお話しがあれば、それを参考にして、委員の皆さんでご審議いただき、結論を出していただければと考えております。

（議長）ありがとうございました。

本年度３回予定しております区民会議の審議事項について、事務局から具体的な提案があればお願いします。

（事務局）事務局より資料に基づき説明。（資料４、資料５、資料６）

（議長）どうもありがとうございました。

ただ今、ご説明いただきましたが、何かご質問、ご意見がございましたらお願いします。

（委員）麻生区の課題について、既にいろいろな課題を思いついていらっしゃる方もいると思いますが、今まで麻生区で、あるいは川崎市で、まちづくりカルテとか、あるいは麻生区カルテというものがあったと思います。それを見ますと、いろいろな問題点というのがアンケートあるいは調査によって具体的に示されているのではないかと思います。既にお持ちの方もいらっしゃると思いますが、委員の方に、カルテの分析結果だとか、あるいはカルテから出てきた問

題点だとか、そのような資料がありましたら、皆さんにお配りいただければありがたいと思います。

（事務局）2002年に地区カルテというものを、当時のまちづくり会議の中で作成いたしました。麻生区をいろいろな形で分析した地区カルテというものでございますので、委員の方に提出したいと思います。また、平成14年に実施した1万人アンケートというものがございます。これについてもいろいろな意見が集約されている部分がございますので、提供したいと考えております。

（委員）この試行区民会議の議事として、大きく分けて、本実施されるべき区民会議の審議方法・制度設計についての方向づけを試行会議の3回で行うことを認識しました。同時に、区の具体的な課題の審議を行うこともわかりました。この二つ、これは何となく別個のように聞いてしまいましたが、おそらくそうではなくて、この制度設計をするに当たっては、空理空論してもまずいと思いますので、具体的な課題を取り上げながら、それに合わせて、行ったり来たりしながら、制度として、例えば委員の構成はこうした方がいいのではないかとか、団体としてはこういう団体を選んだ方がいいのではないかとか、多分そのような関係づけがあるように思いますが、いかがでしょうか。それが質問の一つです。

（事務局）ただ今、委員がおっしゃるとおりでありまして、実際に区の課題をモデル的に審議していく中で、新たな発見といいますか、考え方が出てくると思います。全体を考えれば、審議の方法を含めて、制度設計の中に含まれるというように解釈できるのではないかと考えております。とりあえずは、ただ今ご説明しましたとおり、次回第2回目に向けて、どのような制度設計、いわゆる分野ですとか日時等を含めて、どのようなものがよいとか、あるいは第2回目の話し合う課題、それについて8月末までに委員の方々に、大変恐縮ですが、宿題という形になりますが、この提出用の用紙を使ってお出しいただきたいと思います。そして、第2回区民会議で実際に審議を行いまして、そこでまた新たな考え方、発見が出てくるかと思いますが、それと並行してご意見をいただくという形で制度をつくっていきたいと考えております。

（委員）ありがとうございました。もう一つよろしいでしょうか。

先ほども言いましたように、この区民会議、今回は試行ですけれども、かなりの関心を集めていると思います。そういった中で、ようやく区民の方々の意見が反映されるのではないかと、それから自治基本条例でうたわれた市民、区民といってよいのでしょうか、区民の参加、行政との協働の一つの実験の場になるのではないかと、それが実効性を持って進められるのではないかと、という関心ではないかと考えております。そういった中で、今お話があった制度設計の中での委員の構成というのは、私は皆さんで十分な意見を交換したらよろしいかと考えております。次回に絡むことでしょうが、そういった中で個別

な質問になりますけれども、アンケート用紙をいただきました。そこには16分野まで複数回答が可能ということで、分野が挙げられております。これを皆さんで丸を付けて下さいということですのでけれども、資料5に、これまでの区政推進会議の委員構成というものが載っておりまして、これで見ますと、現在の区政推進会議の出身団体、それからその分野などが記載されているわけです。このアンケートの分野というのは、これに丸を付けるということは、イコール推薦団体に丸を付けたということになるのでしょうか。先ほどから出ていますが、区民の参加ということの実効性を高めるという意味では、分野に丸を付けていくのはできるのですが、それがイコール推薦団体というように最初から決めない方がよいと思いますが、いかがでしょうか。

（事務局）委員が言われましたように、区政推進会議の委員構成ということで例示したわけでありまして、この中には、今言われましたが、例えば文化の分野であれば、区文化協会が推薦団体になっておりますけれども、基本的には推薦団体にはとらわれなくて、その分野の中で幅広く候補を挙げていくことにしたいと考えております。

（委員）今の分野ということなのですが、1から25まであって、例えば次のページに取り組んでもらいたいテーマというのがありますね。テーマというのはよくわかるのですが、例えばその分野について、福祉分野というのはわかりますけれども、例えば美化分野だとか外国人分野だとか、分野という言葉はこれに当てはまるのでしょうか。テーマと言ってくだされば、よくわかると思いますが、分野に丸を付けるというのは、範囲がこの言葉に当てはまらないような気もいたしますが、いかがでしょうか。

（事務局）ただ今、委員がおっしゃったことは確かにあるかと思いますが、分野ということに元々がなっていましたので、分野ということにさせていただきました。必ずしも分野という中でくくれるかということはあるかと思いますが、事務局では文化としても、どこの団体に出ていただくかということまで決めるつもりはございません。例えば美化団体ですと、麻生区にも団体が一応あるわけですね。例えば子どもについてもそれなりの団体があるし、高齢者についてもいろんな団体があります。ですから、外国人という分野がわからないという話になってしまうと思うのですが、先ほど言いましたように、麻生区では今回の試行のときに区長の裁量で、どこかの分野を入れるという判断もあったわけですが、ここで入れると拘束される感じもありましたので、麻生区は一切区長裁量ということでは選びませんでした。そういう意味で、この20人の中で公募の枠が決まっておりますので、残りの枠については全く委員の皆様でご議論をいただきたいと思います。事務局が25まで候補を出させていただきましたけれども、これは案として出させていただいたもので、拘束されるものではなくございますので、委員の方々に、これ以外の分野といいますか、こういう分野の

方々を出した方がよいとか、そのようなご議論があれば、積極的に出していただきたいと思います。若者・学生というのもありますけれども、麻生区には大学もごございますので、若い人の意見も聞くということで、若者・学生を入れさせていただきました。また、外国人等も、麻生区では外国人の方が人口の約1%おられます。都市マスタープランでも外国人の方もお入りになっておりますので、そういう面では分野として、芸術にしてもかなり広い意味があると思います。その意味でも皆さん方で自由にご議論いただいて、分野を決めていただきたいと思います。その中でまた推薦する団体も決めていただく、それがいわゆる制度設計だと思いますが、この中で市として、全体的にどうするかというのがもう一つ議論としてはございます。区政推進会議では、6団体といいますか、6分野が既に決まっております。資料の方で網かけしてあるところとは全く違う形です。これは、今後川崎市で議論させていただくときに、こういう共通の委員さんを入れて条例・要綱等をつくっていく場合もあるかもしれませんし、20人を区で全部考えてくださいというようになるかもしれません。これは、今後の試行の中で、各委員、参与の方のご意見をいただきながら、区としての意見をまとめていただくのですが、その中で選出分野も決まってくると思います。ここでは、麻生区で考えられる選出分野を挙げさせていただきましたが、これにとらわれず案を出していただければと思っております。

（議 長）いろいろご議論がございましたが、よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

ウ 区の課題の審議について

（議 長）それでは、3の課題の審議に入ります。事務局から説明をお願いします。

（事務局）事務局より資料に基づき説明。（資料7、資料8、資料9）

（議 長）どうもありがとうございました。

ただ今、麻生川の問題につきましてご提案がありましたが、毎年3月末から4月上旬にかけて桜まつりが麻生川を中心にして行われるわけでございますけれども、もう少し整備した方がよろしいのではないかという意見が随分あるようでございます。従いまして、今回麻生川をさらに魅力ある桜並木にしたいということであろうかと思っておりますので、皆さんからご意見をお聞きして、麻生の名所として大いに区民の方々に喜ばれるような麻生川にしていきたいという思いがあってのことだと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

（委 員）意見というわけではありませんが、せせらぎカルテを見ますと、小鳥のきれいな写真も載っていますし、ウオーキングマップも素晴らしいと思います。少しお金を出して、きれいなものをつくっていただければと思います。意見ではなくて、感想でございます。

（議 長）ありがとうございました。他にご意見はございますか。

(委員) 麻生川には、私は桜まつりのときに伺いますけれども、それ以外は余り伺ったことがございません。皆さんもそういった方が多いかと思います。それで、今回ロードマップができるということで、非常に楽しみにしております。せせらぎカルテのあとがきのところにも書いてありますけれども、子ども達が、川をきれいにしてほしい、川と触れ合いたい、川の周りを楽しいところにしてほしいと、非常に子ども達が夢を持っておりますので、ぜひ麻生川を麻生区のシンボルとして重点的に取り上げていただきたいと思います。

(議長) どうもありがとうございました。

(委員) 私はこの近所に住んでいて、ちょうど一周回ると40分程度で、毎日ウォーキングコースにしていますが、このせせらぎマップにあるようにきれいではありません。まず、新百合ヶ丘の方から行ったとき、入ってすぐのフェンスの中側は、行政でないとできないのですが、笹がひどくて川は見れません。笹が生い茂り、草も絡まっていますし、それが延々と続いています。きれいになっているところは、最近マンションが建ち、その前のところのフェンスがコンクリで固められています。そこはきれいですが、また汚いというようになっている、それが川の反対側に行っても同じ状態です。そのコンクリの下に桜の木の根っこが持ち上がっていて、あれで大丈夫でしょうか、桜が駄目になるのではないかと、とても心配しています。もう少し桜にも息をつかせてあげたいと思っているのですが、専門家の方たちがいいと思ってコンクリで固めたのでしょうか、あれではかわいそうだし、麻生区の桜並木とは少し違うのではないかと思います。都会の真ん中ならコンクリの中の桜でもいいでしょうけれど、麻生区では似つかわしくないと考えています。それから、笹がすごく出ていますが、これは誰かが刈るということでは絶対だめで、ここは誰の持ち分というように区切ってでも区民が草を刈る。大した距離ではないので、そのぐらいしていつも注意していないと、すぐ草が生えてきてしまう。私は、この麻生八景にも携わり、この緑の計画にも携わって、いつも気になっています。これを麻生八景として、どこかに看板があったらみっともないと思っていますし、また緑化推進重点地区と言いながら、会議は確かにしましたけれども、その後どうなるのだろうかとも思います。何かいつもそんな感じで、会議をやったけど、その後どうなるのかという会議がありますので、今回の区民会議では行政も一緒にやっていく仕組みができれば大変うれしく思います。

行政と区民との取り組みの中で、一番よかったのは隠れ谷公園の事例だと思います。これも緑の重点地区の中に入っていて、行政が立ち上げて、周辺住民と一緒にやりましたが、木が生い茂っていて、小学校を背にしていながら、大変うっとうしいところを整備して、みんなできれいにしました。愛護会をつくり、緑をつくりながら、年2回はフリーマーケットができるまでになりました。そうしましたら、この公園の上の方にある城山公園にもトマトさんという若い

お母さんの会があって、その方たちとも交流ができるようになりました。そのように麻生川の方も決めてやらないと、行政だけでは手に負えないと思います。最初の整備は行政で、フェンスの外側、川側は草がすごく高いので、きれいにしていただきたいと思います。それと、柿生方面にはコイがたくさんいますが、こちらの方には何も見えません。最初にここで整備をするなら、行政にまず出ていただいて、あとは誰が担当するのか。やっぱり周辺の住民が協力するというのが一番よいと思います。年に1回か2回しか来ないような人が整備をするのはとても無理で、周辺住民をまきこみながらいろんなところを整備していく。隠れ谷公園といってもなかなか難しく、月1回でも出席してこない状況です。毎月実施していますが、本当に広がりには遅いのですけれど、そこから始めるしかないと思います。

(議長) 積極的なご意見ありがとうございました。

(委員) 川崎には、おそらく全国でも、あるいは世界に誇れるような二ヶ領用水というものがあります。久地から宿河原まで非常にきれいです。親水性もありますし、最近、行政が力を入れて整備をやっているところですが、桜の守る会があって地域住民の積極的な協力もあります。二ヶ領用水という素晴らしいものを持っている川崎で、それに対して今までやってきたノウハウというものがまちづくり局にもあると思います。二ヶ領用水を参考にした親水性のある川づくりというものがきっとできると思います。まだよくご存じない方は、桜のときではなくて、普通のときも大変きれいですから、二ヶ領用水をご覧いただければ、いい知恵が出てくるのではないかと思います。

(議長) 二ヶ領用水は、割合に低いですがいいのですが、麻生川は何しろ深いので、本当は低かったら水辺の散歩道でもつくっていただければ、非常にいいのではないかと思います。

それから、宿河原では熱心な方がいまして、その方がリーダーになっていろいろな活動をしています。麻生川についても、先ほどの発言にもありましたように、誰か責任者を置いて、積極的にやっていかないと、なかなかきれいにならないと思います。そのあたりは会議で案をつくっていただければありがたいと思いますけど、いかがでしょうか。

参与の方も含めて何かご意見はございませんか。

(委員) 今おっしゃられたとおり、非常に麻生川は深いのですが、私はかつて神田川の修景の提案ということに取り組んだことがあります。深い川でもやり方によっては、深い川にフェンスをつくってその周辺に水を流すとか、親水性がもっと出てくるような形のものができると思います。工夫次第でもっとすてきな麻生川になるのではないのでしょうか。

(議長) どうもありがとうございました。

(委員) 今日は委員14人のうち5人が欠席ということで、話しすぎになって申し

訳ないのですが、先ほどのご説明で、麻生川のことについては課題の一つとして取り上げたけれども、今日ここでこの課題について十分に話し合うということができればよいのでしょうか、併せて制度設計の絡みも見ていかないといけないと思ひまして、一言発言させていただきます。今のお話を伺っていても、麻生川の問題については、やはり住民の方が一番関心がある。麻生八景の一つですから、他の麻生区民に関係ないということではありませんが、今後の維持管理ということも含めて審議するのであれば、当然ご近所というものが絡んでくると思ひます。とすれば、この課題をこの区民会議で審議するのであれば、地域住民の方の声というものが非常に重要ではないかと思ひます。例えばですけれども、住民組織ということであれば自治会、ただ、自治会の代表というのは現在では区町連の代表の方ということになっておりますが、それはそれとして、このテーマが話し合われるときには、先ほどもありましたけれども、区長の推薦委員になるのか、もしくはオブザーバーという形になるのかわかりませんが、地域自治会の方を漏れなく呼んで、この審議に加わっていただく、場合によっては統合してもよいと思ひます。地域の方々を統合して、この会に入っていていただく、そういう仕組み、制度というのも考えられてよいのではないかと思ひます。

それから、最後にその前提になるのですが、今日はあくまでも例示ということで、麻生川の問題が事務局から提示されたわけですから、いずれ本実施の区民会議においては審議する課題をどうやって取り上げていくのか、そしてこの会議に上げるプライオリティーをどうするのか、そういった手続方法についてもこの試行会議で決めなくてよろしいのかなあと思ひました。

(議長) どうもありがとうございました。この件について、事務局で何かございますか。

(事務局) 先ほど申し上げましたように、来年度に向けての今年の試行でございすけれども、今年は市全体として分科会をつくらぬ予定ですが、来年度は分科会、それから幹事会をつくる予定でございす。先ほど委員の方からお話がありましたように、制度設計も同時進行で協議していくものと考えますので、今年の試行は来年度に向けての大変重要な準備だと思ひます。区の課題を1年なり、2年かけて解決していこうとなれば、その中に町連の方が入るにしても、その地域の方を入れるというのも一つの考え方だと思ひます。それから、来年度は分科会をつくることもできますので、その分科会の中に地域の方ですとか専門家の委員の方を入れるとかも考えられます。また、二ヶ領用水のお話もありましたけれども、二ヶ領用水を整備したときの方々のご意見を聞いてもよいのではないかと思ひます。来年度に向けては、そのような制度設計も含めてできる状況になっておりますので、課題を来年度につなげるときには制度設計も含めて整理していく課題になるかと思ひます。

(議長) どうもありがとうございました。他に何かご意見ございますか。

〔発言する者なし〕

(議長) ただ今、「魅力ある麻生川」の問題がいろいろな角度で、ご発言を願ったわけですが、この件についてはそれぞれの団体の中でも十分検討していただきたいと思います。また、これからいろいろなアイデアあるいは実施ができるような問題についてご発言をいただいて、よりよい麻生区にしたいと思いますので、ご協力をいただきたいと思います。今後、第2回の区民会議で報告して、さらに進めていきたいと思います。今日は、議事の進行にご協力いただきありがとうございます。大変ご迷惑をおかけしたと思いますが、ここで芦垣副議長に一言お願いいたします。

(副議長) 皆様、本日はありがとうございました。

私も麻生川については多くの人々に親しまれる場所になってほしいと考えておりますが、行政だけに頼らないよう、区民の人たちも何かできることがありましたら、それなりに活動した方がよいと思います。二ヶ領用水の話が出ましたが、あそこは南武線からも見えますし、小杉の方に向かってすばらしいと思いますが、先ほどお話があったように、水の深さが違いまして、何かよい案がありましたら、皆様これから一生懸命考えていただきたいと思います。麻生川は麻生区の一つの目玉だと思いますので、私も多摩美の方に住んでおりまして、チャンスがありましたら桜を見に行ったことがあります。あちらの方の人は麻生川に来たことがないと思いますので、何かよい方法で皆さん参加して、いい麻生川になっていただけるように私も努力していきたいと思います。

それでは、今日は皆様のお力添えをいただきまして、無事に終わりますことを感謝申し上げまして、中島議長と交代いたします。

(議長) 委員の皆様、参与の先生方、大変ご協力ありがとうございました。皆様方のご協力をいただきまして、第1回の区民会議が無事終了いたしました。また、傍聴の方もありありがとうございました。

(7) 次回日程について

(事務局) 事務局より次回日程について説明。

第2回区民会議（試行）、10月下旬開催を予定。

(8) その他

その他事項なし

(9) 閉会

斉藤麻生区長より閉会あいさつ